
タワゴト

林檎飴

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

タワゴト

【Nコード】

N8656Q

【作者名】

林檎飴

【あらすじ】

あるバイト先のパソコンを使い1、2、3が各々言いたい事をつれずれなるままに書く話。

1-1 起（前書き）

○○○○注意

1-1 起

1-1がログインしました1

はじめに言っておこう

私は文才がない。

では、なぜこんなを書いてるかという疑問の答えは

「暇だった」

からだ。

大学に入ってからもう2年近くたっているが未だに卒業の目処がたない。

それはなぜかは高校時代の成績が低空飛行していた阿呆な私でも分かる。

その理由はただ、講義に出ていなかったからだ。

あまりにも普通の回答に自分でもビックリだ。

家族が誰もいない家での1、2限の講義は既に放棄したといっても過言ではない。

そのため必修単位数は0に等しい。我ながらとんだ阿呆である。

この阿呆がどうやってできたか。いるか分からない読者諸君にかいつまんで説明しよう。

思えば、小学生のころが一番充実していたのではないか？

そういえば、女の部屋に入っただのは小学校3年生以来一度もない。

学校から帰っては近所の友の家に集まり、家庭用ゲーム機で遊んだものだ。

中学時代はもはや、目が当てられない。

思春期の男子は思考が下劣である。何故あの時の私は14の女子のパンツを見ようと思ったのかまったく分からない。

今の私から見れば14の女子など乳臭いガキである。

ただ、21にもなつて14の女子をそのような目で見ることは犯罪が犯罪と思わなければならないが。

しかもこの時についたあだ名は私を高校時代まで苦しめることになるとは誰も予想していなかったに違いない。覚えてろよ。吉田。

高校時代。

私の人生でもっとも輝くはずだった時代は吉田の一言で暗黒面となつてしまった。

アニメや漫画のような青春を夢見ていた私にはこの落差に耐えきれなかった。

制服というのをもっと目に焼き付けておくべきだったかもしれない。今となつてその反動が来ているのだろうか？国道を自転車で登校する制服女子の美しきこと。

しかし、最近になつてパトカーの巡回が多くなつたような気がする。なのであまりじっくり見れないのが残念だ。誰かが女子校生を視姦するからだ。私ではない。

さて、長々と私の人生を書いてきたが今日はこの辺りにするとして。あと10分ほどでバイトが終わるので、店内の巡回でもしてくる。

- 1がログアウトしました -

21 起

12がログインしましたー

あいつが言ってたのはこのことか？

まったく暇潰しにかけては天下一だな。

つか、何書けば良いんだよ？これ。

あいつは何書いてたんだ？人生？はっ！馬鹿にしてやがる。

20そこらしか生きていない奴が人生を語るとはね。

しかしあいつがこれで暇を潰していたというのを店長に言うのは可哀相だしなにより出来ないからな。

あと、あいつ文才つか、変な言い回し多過ぎだよなー、よみづれー。でもおもしれーよな。マジム力つく。

決ーめた。俺の方が面白い事書いて人気を取ってやる。いつもあいつばつかネット上で人気だもんな。

つかあいつと俺だけが書き込むのも気持ち悪いな。なんせ中学のあだ名がパンツマンだもんな。

そうだ、武田にもこれになんか書いとけていっとこ。あいつマジ毎日だるそうだもんな。全く何が生き甲斐で毎日生きてるんだかわか

りやしねー

え？マジかよ？次俺？ちよ、きいてねーって。え？武田が休んだの？また？あいつ今月何回休んだっけ？もうあいつクビでいいだろ…

ー2はログアウトしましたー

31 起

- 3 がログインしました -

ここの店員はどんな教育を受けているの？

業務中にパソコンのキーボードをうるさく叩く根暗そうな人がいたから気になってパソコンの中身見ちゃったけど・・・

あーキモ！吐き気がするゝ。

なんで人生とかについて語っちゃってるわけ。マジキモいんですけど。

なんか読んでるうちに鳥肌がたってきちゃったしゝ。マジ最悪。いやなもん見た。

そういえば、あのイケメン君は何書いてるのかなゝ・・・

あ、これかな？この2つて奴。ってあれ？

こんなにテンションとかもろもろ高い人だったかしら・・・？

まあ、いいわ。あんまり文字数とかも気にならない程度だし。よんでやるーっと。

んーと、文面から察するに1の人同じ店員さんかな・・・？

でもこんなにハキハキしてテンションが高い人なんてこの店で働いていたっけ・・・？

んー誰だろう？男っばいんだけどなー。

・・・あ、やば。あの気だるそうな店員の足音が聞こえてきたわ。もう出社してくる時間？いや、今日は普通よりも10分ばかりはやいわね。なんかあったのかしら。

ま、あまり2の方は読んでないけど見つかったら怒られるかもしれ

ないから、今日はこのへんにして。」

「3がログアウトしました」

1 - 承

- 1 がロゲインしました -

•

•

•

•

•

・
・
・
・
なぜだ？

確かに一人するのはなかなか物淋しいものであると思っていたが、なぜ、私以外にも書きこみがされている？

私はこれの存在をだれにも教えてなどいない。それは私が一番よく知ってる。

むしろ私一人で文学の世界に身を投じてこの倦怠感漂うバイトで時間を早く過ぎ去ってしまえばいいと考えていたぐらいだ。

くそ！誰だ！

午前のシフトの人間はパソコンなど触ることのできない程忙しいからまず違う。

と、なると他の階の人間か？

いや、触っていたとしても午前の人間が怪しむはずだ。それに触る必要がまったくない。その階の人間は今日は一步もこのフロアから外に出てないからだ。他の階の人間の仕業ではないということか。

それに2に至つては私の忌むべき高校時代のあだ名まで知っている。そのあだ名がいやで田舎の大学を選んだというのに。同じ高校から上がってきた奴は一人もないはずだ。いや、全員の進路を把握してるわけではないから。その方は定かではないが・・・

しかし、わけがわからん。文面から察するに2は男で、3は女だな。

しかし両者とも下劣な文をよく吐くな。品性をうたがってしまふ。
3の方は外部の人間だな。多分イケメンとは武田君のことだろう。
こっちの方は後で監視カメラで確認できそうだが。2の方は厄介だ
な。。。

私が店内巡回をしている間に書き込みがされているではないか。
店内にはだれ一人としていなかったはずだ。

待てよ、2は面白い事を書くを書いていたな。
今日もまた現れるかもしれない。さっさと店内の巡回をしてまた見
に来よう。

ー1がログアウトしましたー

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8656q/>

タワゴト

2011年10月8日17時56分発行